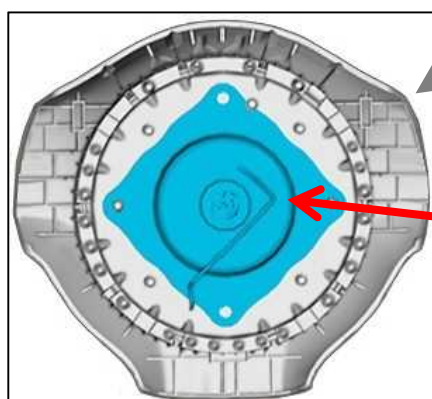


## 改善箇所説明図



運転席エアバッグ（裏側）



インフレーター

は交換する部品を示す

## 不具合発生箇所

運転席用エアバッグのインフレーター（膨張装置）において、ガス発生剤の吸湿防止が不適切であった場合、高い湿度の環境下で大きな温度変化を繰り返すと、ガス発生剤が劣化することがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター容器が破損するおそれがある。

## 改善の内容

車両により搭載しているエアバッグのインフレータの取付方法が異なるため、仕様に応じて以下の改善措置を行う。

- ① 運転席用エアバッグインフレーターを対策品と交換する。
- ② 運転席用エアバッグユニットを対策品と交換する。
- ③ 運転席用エアバッグユニットとステアリングホイールを対策品と交換する。

なお、対策品の準備に時間を要することから、まずは全ての使用者に対しダイレクトメールにより連絡し、対策品が準備できた段階で再度連絡し、交換作業を行う。

識別: キャンペーンステッカーに「69Q7、日付(西暦・月・日の順)、ワークショップスタンプ」を記入し、スペアタイヤ収納部左側面に貼りつける。

